



Willie D. De Vera



ADB Photo Library



ADB Photo Library



Willie D. De Vera

ADB のウォーター・ ボンド

WATER for ALL

2010年における水関連の業務活動

2010年、アジア開発銀行（ADB）は82件の水関連事業に対して7億5,000万ドル以上の融資を実行しました。資金の主な供与先は中国、インド、インドネシアでした。

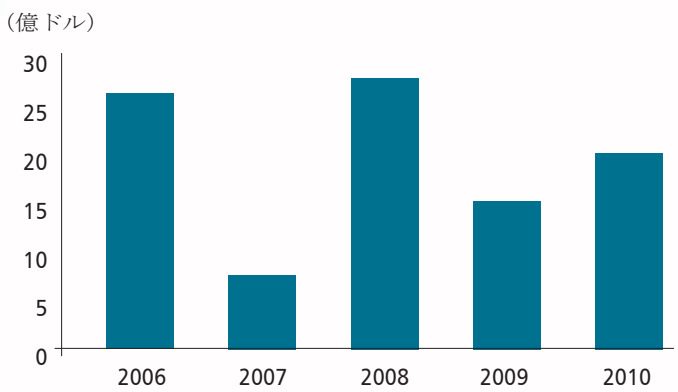
ADBはその水関連事業を支えるため、2010年に初のウォーター・ボンドを発行し、計6億3,800万ドルの資金を調達しました。

ADBは同年10月、フィリピンのマニラで1週間にわたる国際会議を開催しました。「水：危機と選択」と題したこの会議には53カ国から600人以上が参加し、水の希少性、浪費、汚染、サービス水準の低さ、需要の増加と競合といった問題が話し合われました。

パキスタンで大洪水が発生した際には、ADBは100人の専門家チームを派遣し、水と衛生、保健、エネルギー等の関連セクターの問題に対応しました。今後2年間で、同国の復旧に対するADBの支援総額は20億ドルを超えると予想されます。

ADBとユニセフはパートナーシップを構築する覚書を交わしました。両機関は互いに協力して、乳児、5歳未満の幼児および妊婦の死亡率の削減、上下水道および衛生に対する投資の促進、および児童保護制度の強化を含む、ミレニアム開発目標の早期達成を目指します。

ADBが承認した水関連投資額（2006年～2010年）



(注：このレポート中における“ドル”は米ドルを意味します)。

インド：オリッサ州包括的灌漑農業・水資源管理投資事業

事業期間：2009～2017年

融資パッケージ総額：1億8,800万ドル

事業概要

オリッサ州はインドでも特に貧しい州のひとつで、農業は州経済の屋台骨であると同時に、州政府の貧困削減戦略の焦点ともなっています。こうした背景の下、既存の灌漑インフラの効率の低さが、農業の生産性拡大と多様化の促進に対する大きな足かせになっています。マルチトランジェ融資ファシリティを通じて資金が提供される本事業では、同州北部の4つの河川流域およびマハナディ川デルタ地帯の一部における、既存の大・中規模灌漑施設および小規模揚水灌漑施設の生産性、水利用の効率性、そして耐久性の強化を目的としています。

対象となる設備による灌漑農業は、非効率な運営や施設の老朽化、また農業支援サービスやマーケティング・システムとの不十分な連携といった理由で十分に機能していません。本事業は、水利組合の強化、畑地水路を含む灌漑および関連インフラの修復と拡張、貧困層の生計支援を含む農業およびその関連支援サービス、ならびに運営・維持管理の水利組合への段階的移譲を対象としています。



中国：松花江流域水質汚染防止・管理プログラム

事業期間：2008～2015年

融資パッケージ総額：2億ドル

事業概要

本事業は、中国で3番目に大きい河川流域である松花江流域における水質汚染を軽減し、きれいな水の供給を改善することを目的としています。本事業は、松花江流域に沿った北東部の黒竜江省および吉林省における約940万人の都市住民の健康と生活の質を改善するため、飲用水の供給を改善し、污水処理対象地域を拡大し、固形廃棄物管理を強化するものです。松花江とその支流には未処理の廃水が直接排出されているため、化学物質、重金属その他の汚染物質による汚染が深刻です。

本事業では、給水、污水処理および固形廃棄物管理を改善・拡大するためにインフラを建設し訓練を提供します。廃水の再利用と浪費の削減により、迫り来る水不足にも対応します。本事業はまた、松花江流域の環境改善を主眼とする総合的な水資源・流域管理イニシアティブの不可欠な一部を構成するものです。



ADBのビジョンー貧困のないアジア・太平洋地域

国際開発金融機関であるADBは、開発途上加盟国による貧困の削減と、国民生活の質の改善を支援することを使命としています。1966年に設立されたADBはマニラに本部を置き、67の加盟国によって所有・運営されています。加盟国のうち48カ国はアジア・太平洋地域の国で、19カ国は域外国となっています。

ADBの主なパートナーは、政府、民間セクター、NGO、開発機関、地域団体および基金です。ADBは2008年に採択した長期戦略の枠組み「ストラテジー2020」の下で、全ての人々に恩恵が行き渡る経済成長、環境的に持続可能な成長、および地域統合という3つの相補的な中核目標の達成を目指しています。ビジョンの実現を目指すための主な手段は、融資、技術協力、援助、助言と知識です。